

次 目

□ 流行の心理	文科三年
□ 報告	文科二部四年
□ 都櫻	堀尾トメ
□ 和歌	文二
□ 同	L.
□ 故粒木つね子の君を悼む	S.
□ 同和歌	文四
□ 文科會記事	月
□ 會計報告	中村たま
	文三
	文科三年

流行の心理

珍らしい柄の着物がはやりますと似あつても似あはなくとも我也われもど着たがります。誰かゞキヤラメルのやうな調法な御菓子を工夫いたしますと遠足などにはキヤラメルでなければならぬ様に皆様が御持參になります。言葉にいたしましてもハイカラ。自覺、とらはれる、さめる、などは昔ははやり言葉でございました。學問藝術の方面でもオイケンについての研究が下火になつたかと思へばベルグソンが歓迎せられ或はロダンの思想がもてはやされるやうにすべて流行といふのは一つの社會現象として精神的物質兩方面に常に存在する事實でございますがさてこの現象は如何なる心理に基くものでございませうか、どうして人々は我先にと時風を追うてやまぬのでせう一寸考へてみたいと存じます。

まづ其流行の基を養ひ且その擴まる海となる社會に就て申しますと社會には當時の社會の憧憬を觀念にあらはす優秀なる精神能力を有する人々から組織せられてゐる社會意識の流がございます。この社會意識の本を作つてゐる個人意識には觀念中樞運動と感覺中樞運動とがございまして、誰もこの兩方面の作用は有してをりますが、先に申し上げました優者は殊に觀念中樞運動即自發性に富み何か新奇なものを作り又は元來のものに變化を與へてこれを用ゐやうと致します。一方これら少數の優者を周旋してゐる大多數の平凡の人々は最感覺中樞運動即感受性の方が多く優者の行動はこゝに強き暗示としてうけいれられつゞいて模倣とし

て發表せられ人々相傳へて流行を見るのでござますかやうになりますと流行と申しますのは興隆せる社會思想の表現で暗示と模倣の心理によつて行はれると申して差支ないと存じます。而して暗示と申しますのは強制でも何でもなしに外から與へられる觀念が抵抗出来ぬほどの力強さを以つて働くことでその觀念はそれを實にしやうとする即模倣しやうとする傾を持つてをるものでございます。それで流行は單に暗示によるとも申されます暗示の力は大きう強いもので折々新聞に見えます職工のストライキ或は欠伸の流行など皆しらずぐの中に同化されて意志の強い男子でも動かされるのでございます。殊に女子は感受性が鋭敏で模倣が著しく受動的で反抗性が少い爲に流行は女子の間に非常な力をもつて擴まります。それで流行々々といつてはふさはしからぬものを用ひて喜んで居るやうな愚を戒め、自分の見識でその美點丈を探るやうにしなければなりません。個性を中心として選擇し、ゆめ流行の奴隸となりませんやうに。

かやうにして一つの流行は出來ましたが、前に申しました優者と社會意識の流との結合關係は常に一致して居るのではなく、又優者はいつも優者の位置を保つことは限りませず、こゝに社會意識の流も變化いたします。この動き變化するといふことに流行の基礎があるのでございます。例へばある優者がお納戸色に美點を認めてそれが一般流行となつてゐる時には茶のやうな色が若い人に似合はうとは誰も存じよらぬ事でせうのにその中お納戸色もだんく人の眼に飽かれるやうになり一方他に茶に美を發見した優者が出て茶の流行を促してみると、意外にも意外にもこれまで考へ及ばなかつた新らしい味が此色から發見せられるやうなことがござります。これらは茶の色が變化したのではございませぬ。人々の心が優者の暗示によつて變化してゆくのでございます。そしてこの次にかやうに考へてまゐりますと、流行の中心となるものは何處かにす

ぐれた點を備へてをるものであるのは争はれぬ事實でございます。勿論流行にはよくない流行もございませう。併しそれが流行となつて一時でも人心を支配する以上其流行の何處かに或はこれまでなかつたものか、或は無意識に不満を感じてゐる今の心持を満すものか、何か一つ時の社會の要求をみたす新らしい美點を伴つてゐないことはございません。たゞへば文章や歌、俳句の様式を種々に更へて云はうとする試みと、時々行はれ言文一致體（日本に丈しかない例でせうが）やローマ字つづり又は和歌の方面でどうの昔に成功してゐるものもあれば又不成功に終つたのもございませうがとにかくこれらの試みは在來のものに不満を感じ何かして十分に思想感情を發表してみやうといふ希望を達せしめんとして行はるゝのでございます。

お話を前にかへりまして、かやうに世間一般に擴つた流行と申しましても、流行は軍隊の規律のやうに人々の人を風靡するわけに參りません。次のやうなのは精神的の衰老を來し又將來のない人ではありますけれども、社會の中にはあくまで舊を維持しやうといふ人もござりますから、とにかく大抵の人は新奇を好み殊に社交的の性質が成受を手傳つて少しの暗示にも感應して大勢の心はすぐにつの方に流れ流行は限りなく擴るものでございますが、或る期間の後には必ず去つて他のものが之に代りますので、流行のつゞく時期の長さは其物により、其社會狀態によりいろいろでございませうが皆一時的のものでございます。しかし流行として人に顧みられなくとも習慣として社會に永く残るものは澤山ございます。例へば足利義満の時代に流行した點茶は今に遊藝として傳はつてをります。私どもの結つてる束髪も一時は流行だつたものがつゞいて習慣となつてしまつたのでございます。即習慣と申しますのは我々の存在に必要な事情を備へた流行が固定したものに過ぎないのでございます。

次に流行に影響を及ぼすのは社會の狀態でその種類遲速の上に激しい變化を來すことがございます。例へば戰爭の時は萬民の心が齊しく軍事に向ひますから、何でも戰爭に關係ある名前がついて流行してをります。今度の歐洲戰亂でパリーの流行服や帽子が軍事に關係する形をとるとか、日露戰役の後にはシャボン乃木ムスク帽子に東郷ハットが出來たり致しましたし、又人々が戰勝を祝し我軍の英雄を賞讃する類のものを非常な力で傳播したり交通のはげしい事などで流行も速でございます。又戰爭前の社會と戰後とは同じ平和でも戰後の方は人の心が内に向ひ裝飾品よりも實用品の流行が行はれます。

流行は社會思想の現れでございますが、社會思想は時によつて違ひます。これを時代思想又は時代精神と申します。それで流行は時代思想の表現ともいへます。社會狀態は時代思想の形で流行は其の内容でございます。即時代思想は本質で社會狀態はそのあらはれ、流行はその間を貫いて流れる種々の現象といふことが出来ます。質素な風俗は時代思想の剛健を示します。鎌倉時代はこれで反対にはでな元祿時代の風俗は時代思想の軟弱をあらはしてをります。

かやうに時代思想と流行とは互に影響しあつてお互に移り變るもので時代思想によつて流行によつて時代思想を窺ひ知ることが出来ます。

報 告

大正五年我史學界地理學會に於ける諸研究の大要を述べ以て斯界の趨勢を報告す。

先づ史學界の概況を述べんに、特に表れたるものなけれども一般史學界は諸種の研究いよ／＼すゝみて其の公にせらるゝもの多く、「國史講習錄」の發行「歴史講座」の刊行は國史の知識を普及するにあづかりて力あり、又大典紀念事業として地方史の編纂せらるゝもの多し。

尙各部に亘りて之を見るに史學の原理に關しては從來我が國の史學界に於て論究せらるゝ事最も少き方面なりしが最近に至りて次第に注意を惹くに至り、其の方面的研究も漸く公にせらるゝに至り、安部氏の「リツケルトの歴史學の觀念について」夏山氏の「歴史とは何ぞや」など表れたり。この外史學が他の學科と如何なる關係を有するかにつきても大に注目せられ殊に社會學との關係につきての論文多し。

次に國史につきてあぐべきものは一般史時代史としては、早稻田大學出版の「訂正増補大日本時代史」中村氏の「日本近世史」大類氏の「本邦上古の戰鬪」牧野氏の「後北條氏民政史論」岡部氏の「東京奠都真相」あり其他外交關係としては三浦氏の「應永の外寇」藤井氏の「應永の博多津に關する史料」丙田氏の「徳川時代に於ける日本と暹羅との關係につきて」新村氏の「天明時代の海外思想」河野氏の「安永以前松前藩と露人との關係」などなり。